

表やグラフの見方

この表は、脊髄(頸髄)損傷の方の診断名により、国立別府重度障害者センターで目標とする日常生活動作の獲得目安となるものです。ご自分の診断のページでご確認ください。

*獲得目標やグラフは、あくまでも標準的なものです。これら、国立別府重度障害者センターでは、これら標準的なデータを下に、ご本人の希望、年齢、性別、阻害因子等を加味した個別の目標を一人ひとりにつく作成し概ね3ヶ月ごとに見直しています。個別の目標、訓練進捗度、阻害因子等は、各担当者にお尋ねください。

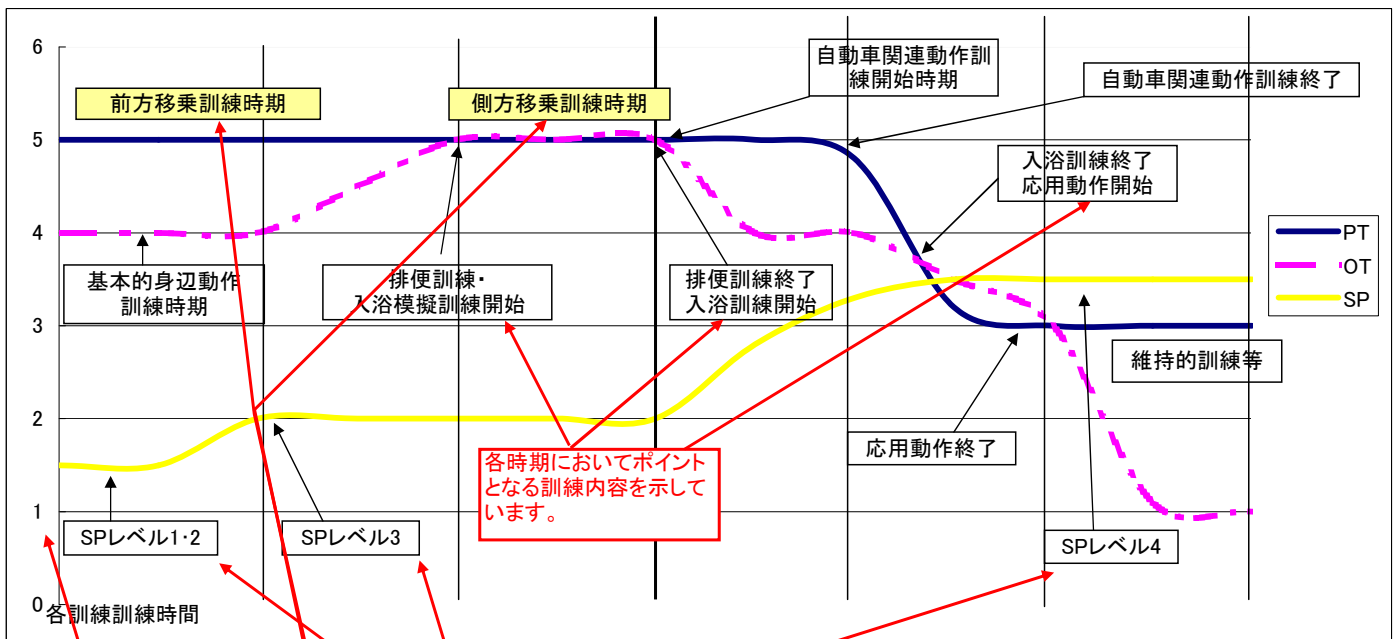
診断別早見表

ご自分の診断を医師にご確認の上、診断別早見表に進み、ご自分に該当するところをクリックしてください。

〇〇完全(不全)と診断された方(で立位可能・不可能な方)

診断(ASIA)	〇〇完全	Zaccolliの分類 フランケルの分類	C6B I・C6B II A
到達目標	B	自立には最大限の条件設定が必要です。(C6B II)	
	C	最大限の条件設定を行えば一応自立は可能ですが、確実性にかける為遠監視は必要です。(C6B I)	
獲得可能動作		食事:	自助具使用(ADLカフなど)にて自立し、配下膳動作も可能となります。
		車いす操作:	屋内外で概ね自立します。(悪路に関しては介助が必要です。)
		整容:	自助具等を使用し自立が可能です。
		更衣:	改良なしでの手袋やズボンの着脱が可能となってきます。上着はボタンエイドでボタン締めも可能となってきます。
		ベッドへの移乗:	乗降車ともに前方移乗にて自立可能です。
		排尿:	自己導尿の手技が可能となります。収尿器の脱着や尿捨ても可能です。
		排便:	レザートイレにて自立可能です。一部、手すり付洋式トイレへの移乗も可能となってきます。
		入浴:	高床式の環境設定にて、シャワー浴・ほふく動作による浴槽出入りまで可能となります。
	自動車	目標獲得動作の大きな目安です。獲得動作には当然個人差があります。	自動車への移乗、車椅子の積み込み、自動車運転等一連の動作が可能となります。

利用契約から終了するまでの状況に応じた一週間の標準的な訓練時間



この軸は、各訓練の週間の時間数の目安をです。訓練の到達度によって、各訓練の必要な訓練時間が変化します。

黄色の枠は、PT・OT共通の訓練目標となります。

スポーツ体力レベル

スポーツ(SP)訓練では、国立別府重度障害者センターが独自に開発した体力レベルを訓練時間や内容の設定に役立てています。リンクでご確認いただけますが、ご自分のスポーツクラス等、詳しくは、担当の運動療法士にお尋ねください。

この軸は、利用契約開始から目標を達成し訓練が終了するまでの期間の目安です。